

富士見市公民館運営審議会議事録

開催日時	平成30年5月23日(水) 午後7時00分～8時30分
会場	鶴瀬公民館 いきいき活動室
出席者	瀬戸 篤 山川亜紀子 長ヶ原美博 神木基晴 中 正美 吉川英亨 高橋康子 横谷希己江 是永国彦 山本百合子 関根健一 中島秀行 尾形忠男 田中洋子 本田和子 藤井文則 (委員16人) 鶴瀬公民館長 南畑公民館長 水谷公民館長 鶴瀬公民館副館長 (合計20人)
欠席者	水谷東公民館長
会議録確認	中 正美 議長
公開・非公開	公開(傍聴人 1人)
会議次第	1、報告事項 (1) 平成29年度事業報告・富士見の公民館について (2) 各地区公運審会議開催状況報告について (3) 第45回富士見市子どもフェスティバルの開催報告 (4) 平成30年度の公民館の運営方針について 2、協議事項 (1) 来期に向けての公運審会議について
会議資料	富士見市鶴瀬地区公民館運営審議会議事録 平成30年度富士見市公民館運営方針
会 議 内 容	
○新委員、新館長 ○傍聴人1名の出席を確認。 あいさつ 中 正美 議長 1、 報告事項 (1) 平成29年度事業評価・富士見の公民館について (各館長から29年度事業の特徴点・重点事業を報告、内容は以下のとおり) ① 鶴瀬公民館 ・子育てサロンをはじめとする子育て学習支援、家庭教育支援事業に重点的に取り組んだ。 ② 南畑公民館 ・地域の特性として、まちづくり支援型の事業が多いのが特徴。 ③ 水谷公民館 ・水谷小学校郷土資料室の活用、子ども食堂、水谷まちづくり協議会 ④ 水谷東公民館(鶴瀬公民館長より説明) ・水谷東安心まちづくり協議会と公民館が常に関わり合いながら事業を行っている。 ・高齢化が進む中、おむすび少年団は、豆の木学校等頑張っている。 (2) 各地区公運審会議開催状況報告について 各館議長より説明 ・鶴瀬公民館 3/28 地区会議開催 (資料に基づき説明)	

平成 29 年度事業評価について、各担当委員より説明の上、意見交換をした。

- ・南畑公民館 次回 6 月 21 日（木）開催予定

- ・水谷公民館 3/22 地区会議開催

平成 29 年度事業評価について、

みずほ中央公園交流施設の活用—パークヨガ、親の学習講座 の開催

平成 30 年度の事業について 意見交換をした。

- ・水谷東公民館 3/5 地区会議開催

平成 29 年 12 月から平成 30 年 2 月の休館期間について

（水谷東小学校空き教室の借用等）

平成 30 年度の事業計画について、平成 29 年度事業報告兼事業評価について

意見交換をした。

（質 疑）

なし。

（3）第 45 回富士見市子どもフェスティバルの開催報告について

次の点を報告。

☆開催日時：平成 30 年 4 月 22 日（日）午前 9 時 45 分のパレードで始まり午後 3 時の閉会セレモニーで終了

☆会場：文化の杜公園周辺

☆内容

○アトラクション部会：昔遊び体験、かえっこバザールなど

○縁日部会：焼きそば、カレーライスなど 子どもフリーマーケット

○子どもステージ部会：和太鼓演奏、フラダンス、ヒップホップダンス、など

☆成果：真夏のような晴天に恵まれ多くの役員、協力者の力をかり、大きな怪我や事故もなく近年で最高の来場者（実行委員会発表 33,000 人）があった。子どもたちの笑顔が見られ、約半年をかけて数度にわたる打合せを重ねてきた役員にとっても充実感のあるものとなり、また来年へとつなげる活力となった。

（4）平成 30 年度の公民館の運営方針について

資料に基づき、鶴瀬公民館長より説明。

（5）その他

なし。

2、協議事項

（1）来期に向けての公運審会議について

任期最後の会議なので、今期を振り返り、各委員からの意見・感想を聞いた。

- ・会議の進行をてきぱきと進めていた一方で、じっくりと意見を交わすことが少なかった印象がある。時にはじっくり腰を据えて議論したいものです。
- ・今年度はできるだけ事業に参加しようと心がけた。時代や市民ニーズに即した公民館事業を考え、その広がりや深さを追及したい。
- ・子育て関係の事業に関わり、母親同士のつながりやサポーター養成への流れができていくことはいいことだと思う。他館の事業にも関心をもっていきたい。
- ・利用者から委員の立場に変わり、事業評価等の役割の大きさ、責任を感じている。バラエティに富んだ各館の事業を互いに参考にしたいもの。また入間公連の研究集会等を通

- て、全国の公民館の実状に触れられたことは、委員でなければありえない経験だった。
- ・あおぞら市場でのコーヒー出店などで、実践・連携できてよかった。
 - ・公運審委員としての地域における役割が年々わかってきて、やりがいを感じている。
 - ・最初は会議についていくのがやっとだったが、一参加者から運営する側に立った経験ができてありがたかった。
 - ・長いような短いような6年間。あおぞら市場の参加は楽しかった。公民館事業が職員だけでなく多くの住民に支えられて成り立っていることの大切さがわかった。
 - ・来期はもっと行動していきたいと思う。我々子育て世代がどうやって地域につながっていくのかを試行錯誤していきたい。
 - ・公民館と中学校との連携による生徒の地域参加や子ども食堂・家庭学習支援事業など、富士見市は公民館が教育センターのような役割を果たしていると感じる。一方で施設の老朽化や駐車場不足など、課題も多いと感じている。
 - ・公民館だより編集委員や母子保健推進員活動をきっかけに委員になった。事業評価は難しかったが、他館の事業も含めて参加すること、知ることの大切さを思う。
 - ・学校長として委員に参画し、子どもたちが地域を愛する心を育てること、地域住民とふれあい、感謝し、恩返しをしていく、そんな学校にしたいと感じた。
 - ・今年度、各館の委員さんから話題提供していただいたのは本当によかったと思います。
 - ・各公民館の中でも公運審委員の役割は様々です。南畑は「行動する公運審」であることがひとつの役割として位置付いています。私もこの役割を通じて、地域への恩返しに努めたい。

館長より

- ・審議会の活性化に向けて、議長のご配慮により工夫して参りましたが、やはり公民館側からより活発な協議をするための具体的な提案が必要だと思っています。

議長より

- ・議長として、効率的な公運審会議を心掛けてきた。
- ・行動する公運審として何にでも関わりを持つことが大切。
- ・「公民館カフェ」を盛り上げるなど、良い部分は伸ばしていきたい。

(2) その他

- ・今期にて任期満了となる委員（4人）の挨拶

次回の全体会の日程について

平成30年7月18日（水） 19：00～

会場：南畑公民館

閉会

開催地の議長よりあいさつ